

法の構造

- ①法律・条文とはどのようなものか、その構造・読み方・使い方を学びます。
- ②全科目及び各科目の全体像をつかみます。

※商・民訴・刑訴・行政はそれぞれ総合講義の第1回目で実施します。

論文解法入門

各科目の論文問題の入門的な解法を伝授します。

- 憲・民・刑は予備試験、全法科大学院入試に共通して出題される科目であり、広く深く問われる上、相対的な受験生のレベルも高い科目です。
- 憲・民・刑の入門・基礎講義は、商・民訴・刑訴・行政の入門講義としての役割も果たします。

これを使って1つのゴールである法科大学院入試の過去問を解くことで、インプットした知識をアウトプットにつなげるイメージを持っていただきます。

基礎講義 (憲・民・刑) 総合講義 (商・民訴・刑訴・行政)

講義 アウトプットにつながる形で基礎知識を伝授します。

- 復習**
- ①短答基礎(総合)トレーニングテキストの問題を解き、インプットした知識を定着させます。
 - ②論文基礎(総合)トレーニングテキストの問題をできる限り解いて、インプットした知識を論文答案としてアウトプットする準備をします。

実力テスト

- ・実力テストの準備を兼ねて、基礎・総合講義の復習を始めます。
- ・基礎・総合講義でインプットした知識を論文答案としてアウトプットできるか、基礎・総合講義の節目ごとに皆さんの現時点での実力を答案を添削してチェックします。なお、民訴・刑訴・行政は既に憲・民・刑・商でかなり実力がついている上、インプットの方が重要なので、実力テストの回数は少なめになっています。
- ・講師は、個々人の実力を伸ばすのに最適な講義となるよう、添削結果をフィードバックします。

応用講義

講義 憲・民・刑で求められる応用知識を横断的にインプットします。

(※横断的な出題や、横断的におさえるべき知識が少ないその他の科目では、基礎知識で足りります。)

復習 論文・短答応用トレーニングテキストの短答問題を解き、インプットした知識を定着させます。そして、論文は、掲載の問題をできる限り解いて、インプットした知識を論文答案としてアウトプットする準備をします。

※ここまでの実力テストや答練で実践的訓練を積んできたので、応用講義は実力テストを実施しません。全体を横断的に見直すことで、法律総合講座最後の総復習をすることを優先します。